

News Letter

病気ひとくちメモ 巻き爪・陥入爪

整形外科 岸本 裕樹

巻き爪や陥入爪は一時的に痛みを取ろうとして深爪をすると切り残しから爪のとげが発生し再び痛みが出てしまったり、安易に抜爪をおこなったりすると同じ様な爪が再び生えたり、変形をさらに助長する事にもなりこれも勧められません。そこでその治療について簡単に書いてみます。

保存療法について

治療はまず保存療法を行い、それでも治らない時に手術を行うこととなります。保存療法としてはまず日常生活でのケア、局所の消毒、抗生剤の投与を行います。①足を清潔に保つ。具体的には清潔な靴下、靴を使用し、最低一日一回以上石鹸を用いた足浴を行いその後イソジン消毒を行いガーゼ、またはカットバンで保護する。②深爪をしたり、爪を切る際に皮膚を傷つけないようにする。③つま先を圧迫する靴を履かないようにし、足先にゆとりのある幅の広い靴を履くようにする等のことに気をつけるようにします。

手術について

爪の変形がひどく、埋没したものは一度治癒しても再発する事が多いようです。従ってその様な変形があり、炎症を何度も繰り返したりするもの等に対しては根治的手術を考えることに

なります。手術は日帰り手術で十分に行えます。麻酔もその足だけの麻酔で行います。手術時間も消毒や麻酔の時間などすべて含めても1時間以内で終わる簡単なものです。整形外科は骨折や筋肉、神経の傷みなどの他にこれら爪の変形による痛み等も診ていきますので、それらでお困りの方も一度外来に相談にお越し下さい。



ホタルブクロ

部署だより

西5

西5病棟には、主に脳外科、耳鼻科、眼科の患者さんが入院されています。中には、片まひや嚔下(えんげ)障害のある患者さんもいらっしゃいます。2時間ごとの体位変換、車椅子への移動をはじめリハビリテーションへの援助、入浴のお手伝い等々・・・力が要ります。そしてまた、朝、昼、晩の食事の摂取へのお手伝い、不安を軽減していただくための説明等々・・・根気と優しさも必要です。

看護という仕事は、頭脳労働と、肉体労働の両方をバランスよく必要とする仕事です。西5病棟では、肉体労働が増えるかな?と想ったりしますが、やはり、精神的看護と表裏一体、強さと優しさの両方必要ですよ。

私たちは、患者さんとかかわりだけでなく、ご家族とかかわりを大切にし、ご家族とともに患者さんをサポートしていきたいと思っています。このたび「嚔下チーム」を立ち上げました。患者さんが「おいしく食べる」ことができるよう学び、実践していきたいと思えます。優しくたくましい、西5スタッフ26名、パワフルに頑張っています。



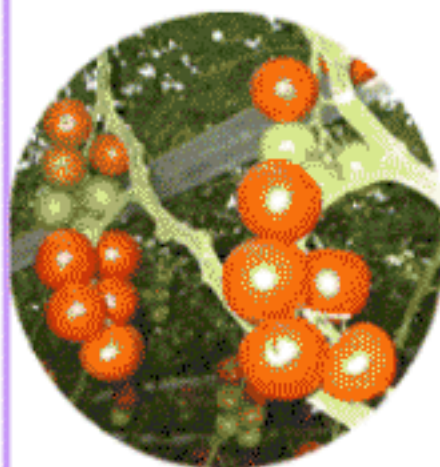
医師・管理栄養士・理学療法士・看護師で結成された嚔下チームのメンバー (一部です)

病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をととして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療



たわわに実った
トマト

季節の食卓
「トマトパワー☆」
〜栄養科〜

食卓を彩る真っ赤なトマトの季節です。皆さんと降り注ぐ太陽の光に負けないくらい鮮やかなトマトは「トマトが赤くなると医者が青くなる」といわれるほど薬効のある野菜として扱われています。

トマトの赤い色のもとにはリコピンといわれる色素の一種です。その抗酸化作用はベータカロチン（体内でビタミンAに変わる）の2倍もあります。皮膚や粘膜を守り、血液をさらさらにしてくれます。紫外線による肌の酸化を防ぎ、がんを抑制する働きもあります。

トマトが完熟するほどリコピンは増えます。生で食べるより加熱した方が吸収率が高くなります。ビタミンEの多い植物油（コーン油や大豆油など）で真っ赤なトマトを炒めて炒め汁ごと食べるのがおすすめです。また、冷え性の人や冷房の効いた部屋で一日中過ごす人は、生食はひかえめにしましょう。さあ、今日の献立はスープやパスタにたっぷりトマトを使うイタリア料理にしてみませんか。



職員駐車場の周囲に咲いたクチナシの花。とても良い香りです。

研修予定
病院職員向け

6月24日 母親学級
（分娩経過と呼吸法、
病棟案内）

7月6日 糖尿病教室
（検査と治療目標、
食品交換表）

7月20日 糖尿病教室
（インスリン療法、
献立のたて方）

日付	内容
7月12日	医局発表会
6月22日	医療安全研修会 〜部署の現状と課題〜

編集後記 今回の「季節の食卓」のテーマはトマト。食欲をそそるトマトの写真は収穫前の実ったものに限る！というわけで、三原村のトマト農園へ行きました。トマトを栽培するハウスはそれはそれは立派で、軽い気持ちで出かけた2人は恐縮しつつ、設備について説明していただきました。県外からの視察があるほどの施設とは知らずにお邪魔した私たちにも丁寧に対応してくださり、ありがとうございました。

5月の統計

外来患者数 15,956人
（うち紹介患者数 152人）

新入院患者数 466人

新退院患者数 451人

平均在院日数 19日

救急車・時間外患者数 1,725人

手術件数 127件



医師の交代
消化器科 古田 良司医師が赴任しました。